

令和7年度 三股町立三股西小学校 学校評価

学校の取組を振り返るために、全保護者・児童を対象に実施した学校評価アンケートと、職員へのアンケートの結果から、自己評価(考察)を行いました。その自己評価について、三股西小学校学校運営協議会の皆様からご意見をいただき学校関係者評価書を作成しました。明らかになった成果と課題を、次年度の取組に生かしていきます。

4:大変よい(90%以上) 3:だいたいよい(~70%) 2:もう少し(~50%) 1:よくない(50%未満)

	項 目				自己 評価	考 察	学校運営協議会評価	
		児童	保護者	職員			意見	評価
進んで学習する子	1 児童は意欲的に学ぼうとしているか。	3.5	3.2	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 項目1と2については児童と保護者の平均値は変わらず、高い状態を維持している。職員の平均値は下がったが、全員AかBの評価をしており、昨年度と変わらず高い評価だと言える。 ○ 学習面について児童も保護者も職員も概ね高い評価をしているのは、本校が継続して取り組んでいる「児童主体の話し合い活動」を活かした授業改善の成果ではないかと推測される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記述式の問題の正答率が高いのが、素晴らしい。児童が創る授業の成果が、学力テスト等の結果に表れている。 ○ 高学年児童の評価数値が低くなっているのは、成長するにつれて自己評価が厳しくなるからであろう。 ○ 中学校に進学することを考えると、教師主体の授業もある程度入れてバランスを取る必要もあるのではないかと。 ○ 先生方が「見守る」時間を大事にしているところがよい。 	3.7
	2 児童に基礎的な学力やそれを活用する力が身に付いているか。	3.5	3.2	3.3				
思いやりのある子	3 児童に、あいさつ、言葉遣い、正しい姿勢、時間を守ることなど基本的な生活習慣が身に付いているか。	3.1	3.2	3.1	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 項目3、4、5については、児童、保護者、職員の平均値は昨年度とほぼ変わらない。 ○ 「あいさつ、言葉遣い、正しい姿勢、時間を守ること」については高学年児童の自己評価が低い。また、これらのことが「できていない」と評価する保護者、職員の数が一定数見られる。改善策を検討したい。 ○ 昨年度と比べて、児童の道徳的実践力、人権意識が向上していると評価する職員の割合が増えている。スクールワイドPBSの取組の成果ではないかと思われる。児童と保護者の評価は変化が見られず、高い状態を維持している。今後も更なる向上を目指していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童のあいさつは、年々良くなってきていると感じる。 ○ 校内のあいさつは素晴らしいと思うが、校外でのあいさつができていないと感じる。 ○ その日の体調や気分によって、挨拶する時としない時があるが、それは仕方ないことだと思う。 ○ 高学年児童が低学年児童と同じように遊びながら帰っているのを見かけることがあり、気になっている。 ○ 児童の言葉遣いについての指導は、家庭にも働きかける必要があると思う。 ○ 児童の学校生活の様子を見ると、休み時間に次の授業の準備をしており、落ちついていると思う。 	3.1
	4 児童に、礼儀、思いやり、郷土愛、生命尊重などの道徳心や実践力が育っているか。	3.3	3.2	3.1				
	5 児童に公平・公正な心や態度や人権意識が育っているか。	3.5	3.2	3.2				
明るく元気な子	6 児童の基礎的な体力が向上しているか。	3.5	3.2	3.1	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 項目6、7、8について児童、保護者、職員の平均値は昨年度とほぼ変わらない。 ○ 項目7について、CとDの評価をしている児童数が全学年を通して多かった。学年に関係なく、「手洗いやうがい、歯磨き、早寝早起きなどの健康に関する基本的な生活習慣が身に付いているか。」 ○ 項目8の「好き嫌い」については、C評価の保護者の割合が増えている。「好き嫌い」の改善については、家庭でも苦労している様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯の保有率は下がっている。家庭の意識も上がり、学校の取組も功を奏しているのだろう。 ○ 早寝早起きの改善については、家庭の力によるところが大きい。ゲームやスマホ等の影響も大きいと思う。学校としてできるのは、家庭への啓発を続けることだろう。 ○ 休日や放課後、外で遊んでいる児童をあまり見かけない。家でゲームをしているのだろうか。外遊びを奨励したい。 	3.4
	7 児童に手洗いやうがい、歯磨き、早寝早起きなどの健康に関する基本的な生活習慣が身に付いているか。	3.3	3.2	3.0				
	8 好き嫌いをしないなど、児童に望ましい食習慣が身に付いているか。	3.4	3.2	3.0				
信頼される学校	9 学校は、保護者との連携を図り、保護者に信頼される学校づくりを進めているか。		3.2	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 項目9、10については両項目とも昨年度と変わらなかった。両項目とも全体的には高い評価になっている。 ○ 項目9についてはA、B評価の職員の割合が減り、C評価の割合が増えた。保護者との連携の難しさを感じている職員がわずかながら増えている。 ○ 項目10については平均値は変わらなかったがA評価とC評価の職員の割合がそれぞれ微増した。地域との連携については手ごたえを感じている職員と難しさを感じている職員がそれぞれいるようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の方から、「先生方が子どもたちのことを思っいろいろしてくださっている。」という話を聞いた。先生方に感謝している保護者は多いのではないかと。 ○ 三股で活躍されている方々に声をかけ、4・5年生のキャリア教育の講師になってもらった。講師になってくださった皆さんがとても喜んでおられた。子どもたちにとっても、良い機会になったと思う。 ○ 学校からの地域の方々に向けた情報の発信の仕方や内容を工夫すれば、更に地域との連携が図れるのではないかと。 	2.9
	10 学校は、地域との連携を図り、地域に信頼される学校づくりを進めているか。		3.2	3.2				